

教職員、学生、関係者 各位

学長 横須賀 薫

十文字学園女子大学における電力需給対策について

1 はじめに

昨年度は、3月11日に発生した東日本大震災に伴い、政府において「夏期の電力需給対策」が示され、本学においても平日日中の電力使用の一定の抑制をお願いし、成果を得ることができました。

一方、平成23年度の冬期は、冬期の最高気温と使用電力の相関関係から、最高気温が5℃までしか上昇しない日は、契約電力を超過することが予想され、急遽暖房を15分間隔の間欠運転に変更するなど対策を講じました。

また、福島第一原子力発電所の事故を受け、国民の間で揺れる原子力に対する安全性への疑念が払拭できない中、5月5日に国内で唯一稼働していた泊原発3号機（北海道泊村）が定期検査にはいり、国内の商業用原発50基がすべて停止となったことは報道の通りです。現時点では、使用制限や計画停電などは予定されておりませんが、依然として需給状況が緊迫しております。

本学では、昨年度から取り組んでいる電力危機に関連して行ってきた結果を踏まえ、電力供給難にあっても、社会的役割を果たしつつ、教育研究活動の質を確実に維持していくことをめざし、以下の通り年間を通じた対策を講じます。

各々の状況に応じ、所要の取り組みについて積極的に対応いただきますようお願いいたします。

2 需要抑制目標（節電に係る数値目標）

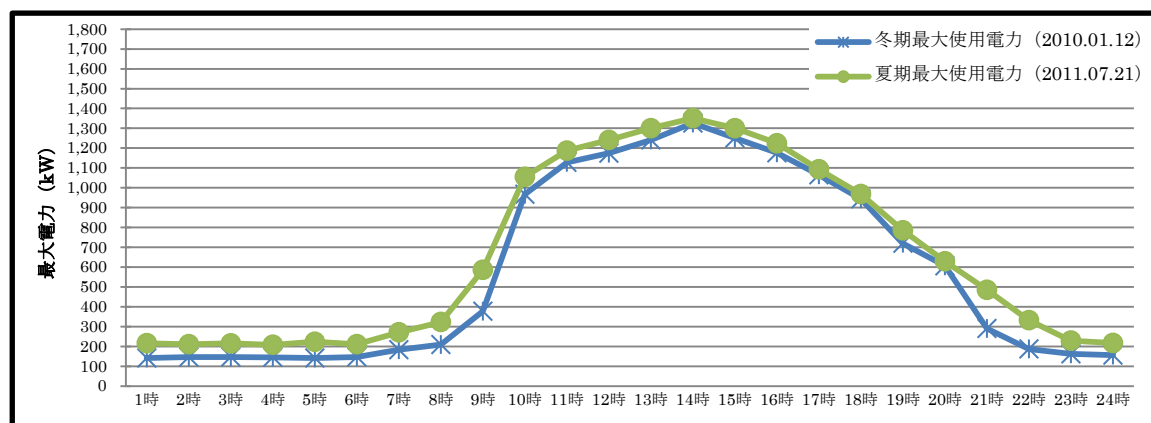
■目標：最大使用電力 1,148 kW（昨年と同じ）

〔節電強化期間〕

夏期：7月～9月の10時～15時 冬期：12月～2月の10時～15時

3 本学の電力消費の特徴

下記のグラフに示すように、夏期、冬期ともお昼休みから14時ごろが特に電力使用が高まる。



4 行動計画

(1) 基本アクション

●管財課を中心に、全学的な電力需給対策に取り組むとともに、行動計画を確実に実施するため、部門毎に「電力需給対策担当」を指名し、節電に責任をもって取り組みます。

(2) 第1アクション 空調（冷房・暖房）

●冷房の設定温度は「28℃」、暖房の設定温度は「18℃」とします。

- 使用していないエリア、時間帯での空調運転を停止します。
- 中間期を設定し、期間中は集中運転を休止します。[期間：5月～6月、10月～11月]
 - *集中運転の対象建物：7号館、8号館、9号館 及び 記念ホール
 - *集中運転開始の外気温目安：冷房28℃、暖房18℃

[強化期間中]

- 職員事務室 及び 記念ホールの昼休み中の空調は停止します。
- 図書館の空調は間欠運転します。

(3) **第2アクション** 照明

- 使用していないエリア、時間帯の照明を切ります。
- 教育研究活動等に重大な支障のない範囲で、エリア、時間帯での間引き点灯を実施します。
 - *廊下照明の間引き点灯、日中の消灯など
- 自然光を活用し、各部屋のカーテン、ブラインド等の開閉をこまめに行い、窓側の照明を切ります。

[強化期間中]

- 職員事務室 及び 記念ホールの昼休み中の照明は消灯します。

(4) **第3アクション** O A 機器等

- 使用していないパソコン、プリンター、複写機等のO A 機器の電源を切るとともに、待機電力削減のため退室時に電源は切断します。
- パソコン、テレビ、温水洗浄便器等は、省エネ・節電モードにして使用します。
 - *夏期期間は暖房便座、温水の運転は停止します。

[強化期間中]

- 教育研究活動等に重大な支障のない範囲で、エレベーターは、間引き運転を行います。
- 10時～15時までの給湯器の運転を停止します。
- 冬期における授業開始前の教室の余熱暖房を行います。

(5) **啓発活動等**

- クールビズを5月14日から前倒し実施します。
- 全学閉鎖期間を8月11日から8月18日まで設定します。
- エネルギーの「見える化」のために、ピーク電力や総電力使用量等についてデータを学内に通知し一層の節電に取り組みます。
- 節電意識を高めるため、ポスター等を掲示します。

5 その他

<電力需給対策に関連して以下の取り組みも行います>

- 節水やコピー用紙の削減などにも取り組みます。
- 効率的に業務を行い、できるだけ定時に退勤します。
- 自宅においても節電に取り組みます。

<中長期的な視点で以下の事項も検討します>

- 地球環境に配慮したソーラー設備等による自家発電システムの導入
- LED電球など省エネ対応機器への切り替え

以上